

第100回安来市議会定例会9月定例会議の開議にあたり、諸議案の説明に先立ちまして、最近の市政の主な動きと所信の一端を申し述べます。

はじめに、去る8月26日にご逝去されました、石橋大吉元衆議院議員に哀悼の意を表し、一言お悔み申し上げます。

石橋氏におかれましては、安来市月坂町のご出身で、昭和61年から衆議院議員を4期務められ、平成8年には衆議院の農林水産委員長に就任されるなど、国政の第一線でご活躍をされ、ふるさと安来のためにも力を尽くしていただきました。

ご生前の多大なるご活躍とご功績に深甚なる敬意を表しますとともに、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

次に、「新型コロナウイルス感染症」についてであります。

感染力の強い変異ウイルスが猛威を振るい、感染拡大が続いている新型コロナウイルスの第7波ですが、安来市においても6月下旬から連日かつてない数の感染者が確認されているところであります。

8月10日には市内で初めて100人を超える新規感染者が確認されるなど、今年の6月末時点で885名であった市内の累計感染者数は、8月末時点で、調査中の方を除き、4,202名と、この2か月で急増しております。

重ね重ね申し上げますが、市民の皆様には、引き続き、「三つの密」など感染リスクが高まる場面を避ける、こまめな換気、人と人との距離をとる、マスクの着用、手洗いなどによる手指衛生など、基本的な感染防止対策をお願いいたします。

また、発熱や風邪などの症状があるときは、出勤など外出は控えていただき、速やかにかかりつけの医療機関に電話で相談してください。

ワクチン接種につきましては、感染予防や重症化予防に効果があることが国から示されています。お手元に接種券が届いた方は、予防効果と副反応によるリスクの双方をご理解のうえ、早めに接種されますことを積極的にご検討ください。

このような状況のなか、長期化する新型コロナウイルス感染症と原油・物価高騰により、影響を受けている市民と市内事業者を支援するため、「やすぎ家計応援商品券」を市民の皆様全員に9月中に配布します。この商品券は、届き次第使用可能となっており、取り扱いができる指定事業者についても現在300件を超える応募をいただいております。

商品券が皆様のお手元に届きましたら、家計の一助としてご活用いただくとともに、地域経済の活性化にご協力いただきますようお願い申し上げます。

次に、「やすぎ月の輪まつり花火大会」についてであります。

新型コロナウイルスの影響で2年連続で中止となっておりました「やすぎ月の輪まつり花火大会」が、8月14日に開催されました。当日は、新型コロナウイルス感染防止対策を施し、屋台などの飲食ブースの出店は取りやめ、時間、打上げ数を例年より縮小しての開催とはなりましたが、約3,000人の観覧者にお越しいただきました。直接観覧いただくだけでなく、どじょっこテレビによる中継やYouTube配信など、三密を回避しながら安来の夏の夜空を彩る花火大会を楽しんでいただけたものと思っております。

次に、「安来市総合文化ホールの開館5周年」についてであります。

平成29年9月に開館しました安来市総合文化ホール「アルテピア」が、今月で開館から5周年を迎えました。

アルテピアは、大規模な集会・集客のための施設であるとともに、市民の文化芸術活動の拠点としての機能を併せ持っており、7月末時点で63万人を超える皆様に来場いただいております。

今年度は、6月2日に開催された人間国宝・野村万作と野村萬斎、野村裕基の親子三代による狂言公演など、様々な5周年記念イベントを開催し、大変好評をいただいております。今後とも引き続き、皆様に愛される文化ホールとして運営をしてまいりたいと考えております。

次に、「日本遺産『出雲國たたら風土記～鉄づくり千年が生んだ物語～』」についてであります。

平成28年4月に、安来市・雲南市・奥出雲町の2市1町で認定されました日本遺産『出雲國たたら風土記～鉄づくり千年が生んだ物語～』が、このたび、認定地域の総括評価・認定継続審査を受け、認定継続に加え、他の地域のモデル地域となる「重点支援地域」に選定されました。

これにより、国からの支援を受けることができ、構成文化財の保存、継承を図るとともに、受入体制の整備や更なる認知度向上の取組みを進め、地域全体の観光振興につなげていきたいと考えております。

次に、「金屋子神話民俗館」についてであります。

製鉄や鍛冶の神様にまつわる金屋子神話とその民俗を紹介しております金屋子神話民俗館ですが、建築後29年経過したことによる施設の老朽化や、現在の敷地が土砂災害警戒区域に指定されたことなどの

理由により、令和4年11月30日をもっての閉館を考えております。

主な展示物は、日本遺産「出雲國たたら風土記」のゲートウェイ施設に位置づける「和鋼博物館」に順次移転しますので、これまで冬季休館中には見ることができなかつた展示物を通年で見ることが可能となります。

次に、「交流センターを核とした地域づくりのあり方検討委員会」についてであります。

各地域の特色を生かした地域づくりを継続的に実施するため、市の支援体制や交流センターの運営方針等について検討する「交流センターを核とした地域づくりのあり方検討委員会」の第1回目を7月19日に、第2回目を8月23日に開催いたしました。第1回目では人口データによる地域の現状及び将来推計について情報を共有し、第2回目では地域と交流センターを取り巻く問題点や今後の地域づくりへの課題などの整理を行い、活発な意見交換がなされたところです。

今後は、先進的な取り組みをしている地域への視察を行うなど優良事例を参考にして、基本方針の考え方と方向性案について協議を重ね、12月には最終報告をいただく予定となっております。

次に、「園芸施設整備事業」についてであります。

安来市穂日島町で施設園芸を営む経営体が、新たに生産販売と収穫体験を組み合わせたイチゴ栽培に取り組むために整備する施設に対し、支援を行います。

3年間でイチゴ栽培用ハウス75アールなどを整備する計画となっており、産地力及び販売力の強化、新たな農業の担い手確保や交流人口の増加が図れ、付近の観光農園と同様に道の駅「あらエッサ」や

中海ふれあい公園と一体となった観光スポットとしての誘客が期待されるものと考えております。

なお、今年度の対象事業費は約6,000万円であり、2分の1を補助金として支出します。財源は全て国からの交付金であり、本定例会議の補正予算案として提案させていただくこととしております。

最後に、「財政」についてであります。

一昨年度より実施しております、一般会計全事業を対象にした事務事業の見直し、いわゆるサマーレビューを今年度も8月に実施いたしました。行政の効率化・スリム化や事務事業の見直しなど行財政改革の取り組みを、次年度予算編成に反映してまいりたいと考えております。

また、先般、令和4年度の普通交付税の算定が行われ、対前年約1億3,500万円減の約86億9,800万円と決定しましたので報告いたします。

今回提案いたします案件は、議決案件14件、認定案件12件、報告案件7件、同意案件1件、諮問案件1件であります。

諸議案の詳細につきましては、副市長以下それぞれ担当職員に説明させることとしております。何とぞよろしくご審議をお願い申し上げます。